

「社会保障制度に関する特別世論調査」の概要

平成 20 年 9 月
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数	1,822 人 (60.7%)
	調査期間	平成 20 年 7 月 24 日～8 月 3 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	社会保障制度に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	<ol style="list-style-type: none">1 社会保障制度に対する満足度2 社会保障制度の中で満足している分野3 社会保障制度の中で満足していない分野4 社会保障の給付と負担のバランスについて5 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について6 社会保障制度の中で緊急に改革に取り組むべき分野	

＜お願い＞

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

「社会保障制度に関する特別世論調査」の要旨

平成 20 年 9 月
内閣府政府広報室

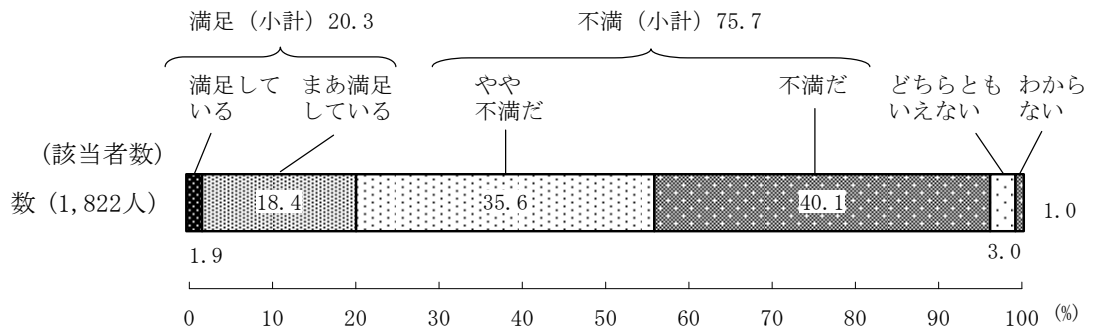
調査時期：平成 20 年 7 月 24 日から平成 20 年 8 月 3 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：1,822 人 (60.7%)

1 社会保障制度に対する満足度

平成 20 年 7 月

・満足（小計）	20.3%
・満足している	1.9%
・まあ満足している	18.4%
・不満（小計）	75.7%
・やや不満だ	35.6%
・不満だ	40.1%
・どちらともいえない	3.0%
・わからない	1.0%

総

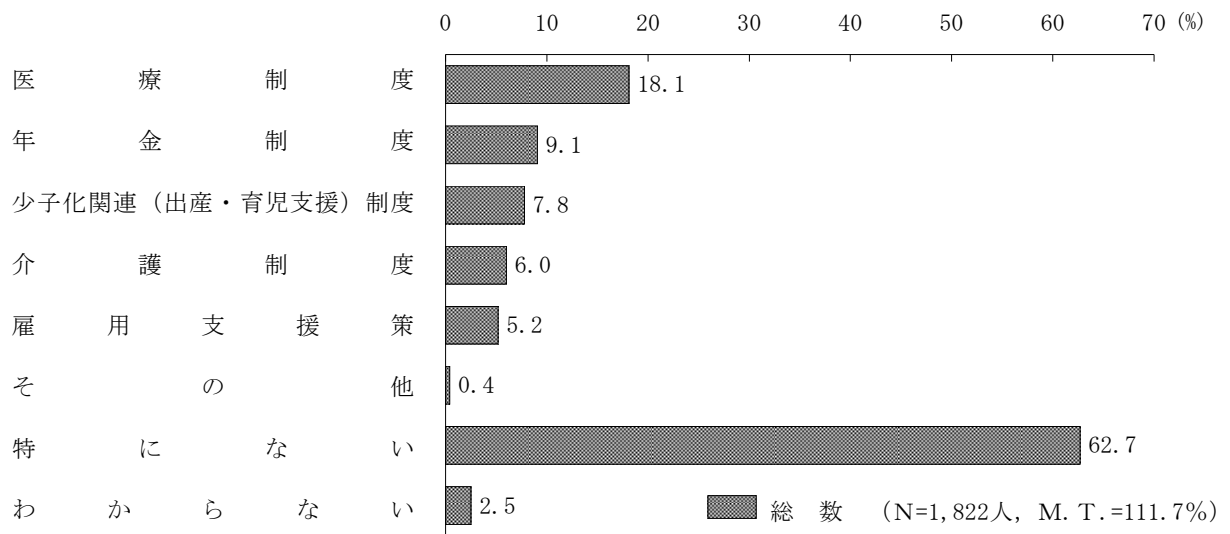


2 社会保障制度の中で満足している分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

・医療制度	18.1%
・年金制度	9.1%
・少子化関連（出産・育児支援）制度	7.8%
・介護制度	6.0%
・雇用支援策	5.2%
・特にない	62.7%

(複数回答)

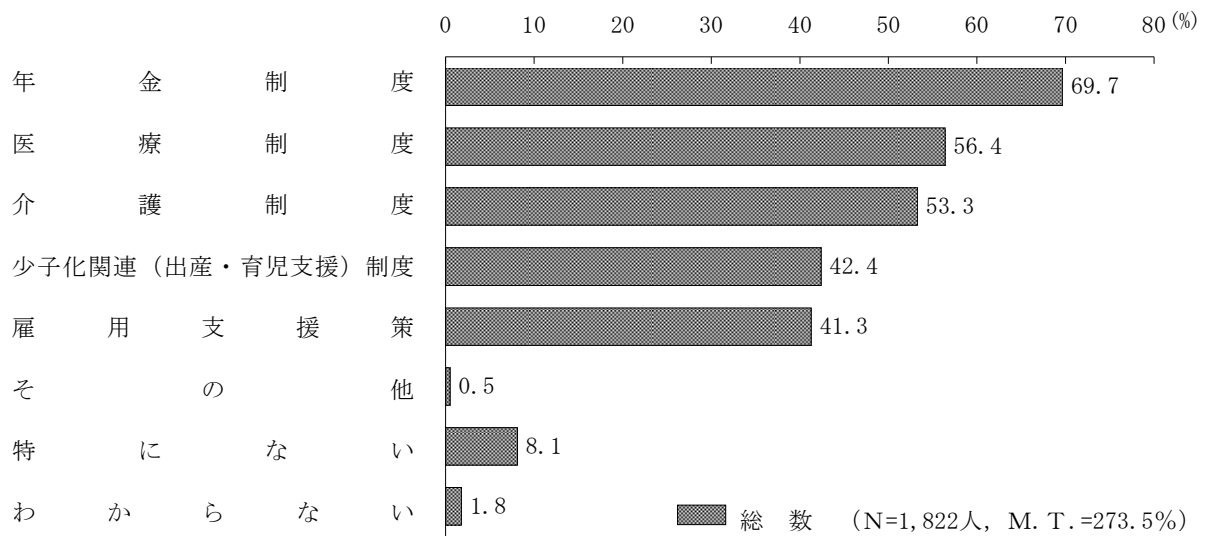


3 社会保障制度の中で満足していない分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

・年金制度	69.7%
・医療制度	56.4%
・介護制度	53.3%
・少子化関連（出産・育児支援）制度	42.4%
・雇用支援策	41.3%

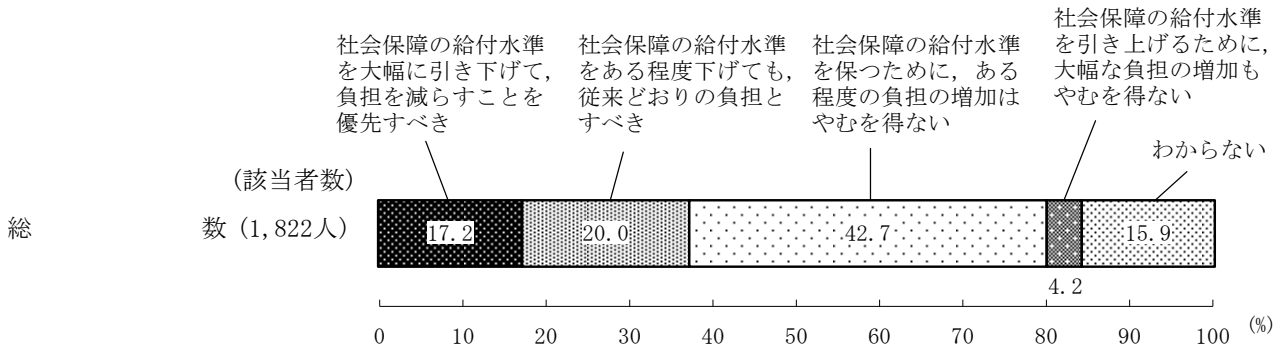
(複数回答)



4 社会保障の給付と負担のバランスについて

平成 20 年 7 月

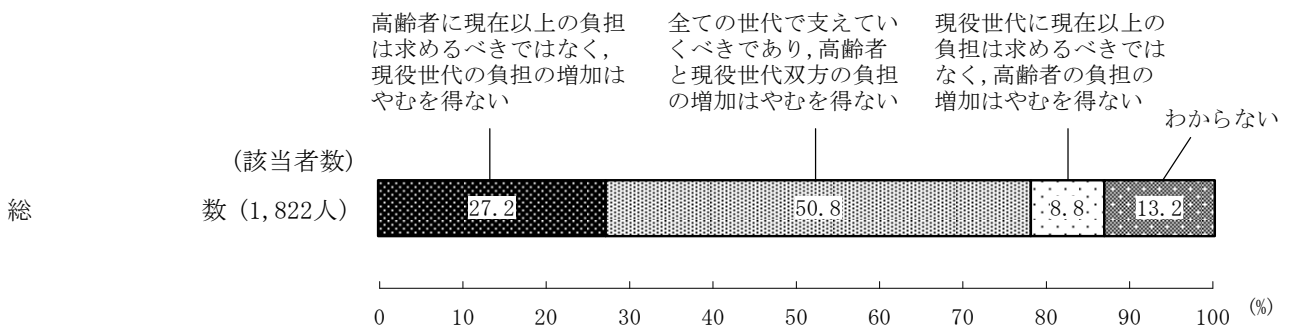
- ・ 社会保障の給付水準を大幅に引き下げて、負担を減らすことを優先すべき 17.2%
- ・ 社会保障の給付水準をある程度下げても、従来どおりの負担とすべき 20.0%
- ・ 社会保障の給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむを得ない 42.7%
- ・ 社会保障の給付水準を引き上げるために、大幅な負担の増加もやむを得ない 4.2%
- ・ わからない 15.9%



5 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について

平成 20 年 7 月

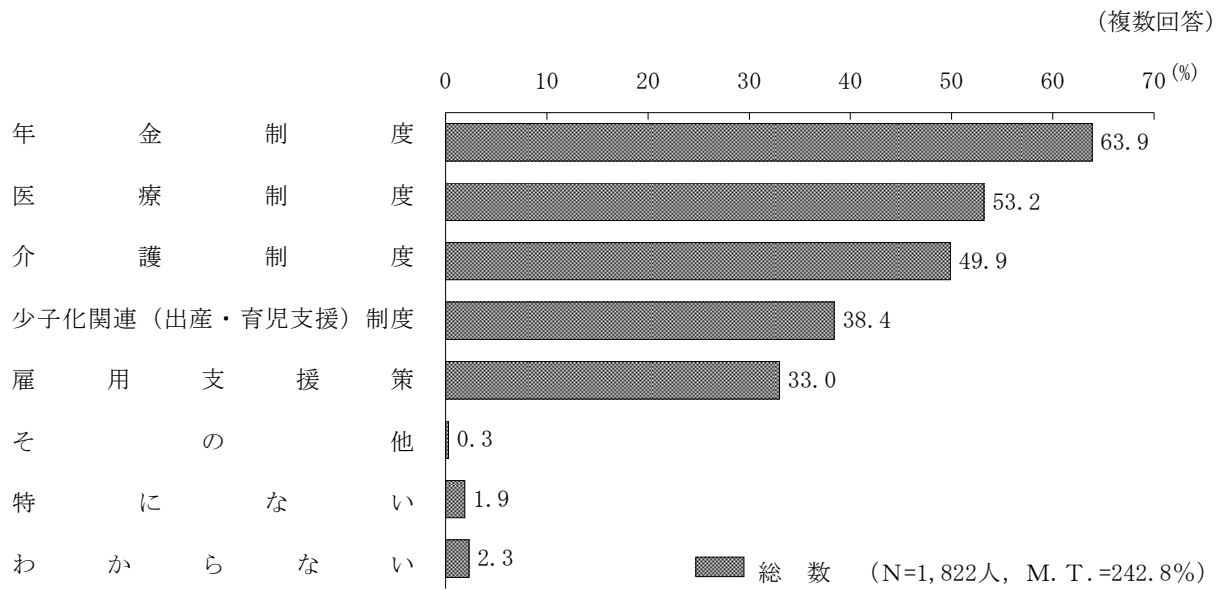
- ・ 高齢者に現在以上の負担は求めるべきではなく、
現役世代の負担の増加はやむを得ない 27.2%
- ・ 全ての世代で支えていくべきであり、
高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない 50.8%
- ・ 現役世代に現在以上の負担は求めるべきではなく、
高齢者の負担の増加はやむを得ない 8.8%
- ・ わからない 13.2%



6 社会保障制度の中で緊急に改革に取り組むべき分野（複数回答）

平成 20 年 7 月

- ・年金制度 63.9%
- ・医療制度 53.2%
- ・介護制度 49.9%
- ・少子化関連（出産・育児支援）制度 38.4%
- ・雇用支援策 33.0%



社会保障制度に関する特別世論調査

調査時期：平成20年7月24日から平成20年8月3日
調査対象：全国20歳以上の者3,000人
回収結果：1,822人（60.7%）

話は変わりますが、次に時事問題として「社会保障制度」についてお伺いします。
（【資料1】を調査対象者に提示し、読んでもらった上で質問する。）

【資料1】

この調査における「社会保障制度」とは、主として、公的な

- ・年金制度
- ・医療制度
- ・介護制度
- ・雇用支援策
- ・少子化関連（出産・育児支援）制度

を指しています。

Q1 【回答票17】 あなたは、全体として、現在の社会保障制度にどの程度満足していますか。
この中から1つだけお答えください。

- （1.9）（ア）満足している
- （18.4）（イ）まあ満足している
- （35.6）（ウ）やや不満だ
- （40.1）（エ）不満だ
- （3.0） どちらともいえない
- （1.0） わからない

Q2 【回答票18】 あなたが、現在の社会保障制度の中で、満足している分野はどれですか。
この中からいくつでもあげてください。（M.A.）

- （9.1）（ア）年金制度
 - （18.1）（イ）医療制度
 - （6.0）（ウ）介護制度
 - （5.2）（エ）雇用支援策
 - （7.8）（オ）少子化関連（出産・育児支援）制度
 - （0.4） その他（ ）
 - （62.7） 特にない
 - （2.5） わからない
- （M.T. = 111.7）

Q3 【回答票18】 あなたが、現在の社会保障制度の中で、満足していない分野はどれですか。
この中からいくつでもあげてください。（M.A.）

- （69.7）（ア）年金制度
 - （56.4）（イ）医療制度
 - （53.3）（ウ）介護制度
 - （41.3）（エ）雇用支援策
 - （42.4）（オ）少子化関連（出産・育児支援）制度
 - （0.5） その他（ ）
 - （8.1） 特にない
 - （1.8） わからない
- （M.T. = 273.5）

(【資料2】を調査対象者に提示し、読んでもらった上で質問する。)

【資料2】

少子高齢化の進行により、今後、高齢者の数が増加する一方で、高齢者を支える現役世代の数が減少し、現役世代の社会保障の負担が重くなることが懸念されています。なお、ここで言う「負担」とは、保険料負担と公費負担のことを言います。

Q 4 【回答票 19】 今後の社会保障の給付と負担のバランスについて、あなたのお考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- (17.2) (ア) 社会保障の給付水準を大幅に引き下げて、負担を減らすことを優先すべき
- (20.0) (イ) 社会保障の給付水準をある程度下げても、従来どおりの負担とすべき
- (42.7) (ウ) 社会保障の給付水準を保つために、ある程度の負担の増加はやむを得ない
- (4.2) (エ) 社会保障の給付水準を引き上げるために、大幅な負担の増加もやむを得ない
- (15.9) わからない

Q 5 【回答票 20】 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような方向を目指すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものをこの中から1つだけお答えください。

- (27.2) (ア) 高齢者に現在以上の負担は求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない
- (50.8) (イ) 全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない
- (8.8) (ウ) 現役世代に現在以上の負担は求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない
- (13.2) わからない

Q 6 【回答票 21】 あなたは、社会保障制度の中で、緊急に改革に取り組むべき分野はどれだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (63.9) (ア) 年金制度
- (53.2) (イ) 医療制度
- (49.9) (ウ) 介護制度
- (33.0) (エ) 雇用支援策
- (38.4) (オ) 少子化関連(出産・育児支援)制度
- (0.3) その他()
- (1.9) 特になし
- (2.3) わからない

(M. T. =242.8)